

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C	令和5年(2023年)6月21日		
横断的な課題	1 移住に結びつく人と知の流れの創出と地消地産や産業振興による地域の活性化							
地域重点政策	2 産学官金連携、広域連携による基幹産業の振興						上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	農業農村支援センター		
事業名	ワイン用ぶどう生産支援事業				電話	0268-25-7125		
					E-mail	ueda-nogyo@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	千曲川ワインバレーにおけるワイン産地の認知度向上に向け、栽培面積の拡大やワイン用ぶどうの品質向上、また生産者の栽培技術支援に取り組むことで、ワイン振興を推進する。 (ワイン用ぶどう栽培面積: R2年度実績108ha、R4年度目標110ha)						
	現状と課題	ワイン栽培の適地として知名度の向上等により、栽培面積やワイナリー数は増加傾向にあるが、ワイン用ぶどう生産者は農業未経験者が多く、技術的には不安定で相互に情報共有する場も少ない。前年度は栽培土壌の調査や高標高地での現地適応性について研修し、今年度は栽培技術の研修に加え、栽培者間の交流を目的とした情報交換会を行う。また、慢性的な労働力不足により生産技術等の省力化が求められていることから、前年度は自動草刈機等の実演を行ったが、今年度は作業アシストスーツ装着による労力負荷軽減の体験会を計画する。						
	内容 (変更後の内容)	1 栽培技術の向上と交流促進 生産者の栽培技術向上や交流の促進を図るため、ワイン用ぶどう栽培者を対象に、生産者技術セミナー及び情報交換会を開催する。(1月、2月) 2 スマート農業の普及実証(お試し体験会の開催) 収穫時における作業負荷を軽減するため、ワイナリー等でお試し体験会を実施する。(10月)						
	事業期間	令和4年(2022年) 4月			～	令和5年(2023年) 3月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等		実施内容		実績額		備考	
	生産者技術セミナーの開催		研修会・情報交換会の開催		44,027		講師報償費27,200円 講師旅費16,827円	
	アシストスーツお試し体験		お試し体験会の開催		1,708		スーツ使用後の返却送料	
	合計				45,735			
指標及び達成状況	成果指標			目標値		成果		達成状況
	ワイン用ぶどう栽培面積(R2: 108ha)			110ha(R4)		120ha		◎ 達成
	情報交換会の継続希望の回答率(アンケート結果から)			70%以上		97%		○ 一部達成
	生産者技術セミナー及び情報交換会の参加者人数			50人		61人		○ 未達成
実績	【実績】 生産者技術セミナーは、1月に屋内での栽培技術及び病虫害防除に関する研修会を、2月にはワイン用ぶどうほ場で粗皮剥ぎ作業や無煙炭化器の実演会を合わせて開催した。参加人数は当初の目標を上回る参加があり、関心の高さが窺えた。また、アンケート結果から継続実施の希望が高いことが分かった。労力負荷軽減につながるアシストスーツお試し体験は、体験会を1回実施できた。							
	【成果】 セミナー開催時のアンケート結果(回収率100%: 32名)から今回のセミナーが役立ったかの問いに、「大いに役立った」に20名、「まあまあ役立った」に12名の回答を得た。また、アンケートを通じて、引き続き、栽培技術や病虫害対策についての開催要望が強いことや、経営の中では、労働力不足である課題等を確認することができた。							
今後の方向性	管内のワイン用ぶどう栽培者は、栽培技術が十分でないため引き続き生産者技術セミナー開催の必要性が高いので、スマート農業導入検討も含めて継続が必要である。							